

総合心療科に通院されている患者さんへ 研究に対するご理解・ご協力のお願い

研究課題名「総合病院精神科リエゾン活動において緊張病と診断された症例の検討」

さいたま市立病院では、上記の研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた記録を調べるもので、本研究に参加されることによる患者さんへの新たなご負担は一切ありません。この案内をお読みになり、本研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問があります場合、または本研究に『ご自身の診療情報を使ってほしくない』とお思いになる場合は、担当医師あるいは後述の「問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。

【対象となられる方】

2007年4月1日から2017年3月31日までの間に、さいたま市立病院入院中に緊張病の症状のため精神科の診療を受けられた方が対象となります。

【本研究の意義・目的】

緊張病は統合失調症、うつ病、解離性障害などでみられる無言・無動・拒絶などが比較的突然出現することを特徴とする特異な症状群です。昨今、緊張病の症状はこのような狭義の精神疾患に限らず、様々な身体疾患にも出現することが知られるようになり、このような場合「器質性緊張病」と呼ばれています。本研究では、精神科リエゾン活動（精神科医が他科の医師と共同して患者さんを診察すること）中に遭遇した緊張病症例の症状の特徴等を検討することを目的としています。

総合病院のリエゾン活動における緊張病の研究はわが国にはほとんどなく、欧米でも数件の発表に止まっています。本研究により、適切な治療の選択に役立たせることができるかと期待されます。

※器質性：脳そのものの構造的・形状的な性質が障害されて起こる病気や症状を指します。

【研究の方法】

既存の診療記録から下記の診療情報を収集し、匿名化データとした上で解析させていただきます。本研究は、カルテの記録を過去に遡って調査するものになりますので、研究のために患者さんに新たに検査や処置を受けていただくなど、ご負担や不利益が生じることはありません。

本研究で収集するデータ

診療情報：症状の特徴、経過、治療内容、予後 等

【研究期間】

倫理委員会承認後より 2017年12月31日までを予定しております。

【個人情報の取り扱い】

本研究で収集する患者さんの診療情報は、「個人情報管理者」（仙波 純一）が責任を持って匿名化（どの患者さんの情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたもの）データとした上で、解析を行います。患者さん個人と匿名化データを結びつける「対応表」は、当院内の鍵のかかる場所で厳重に保管・管理し院外への持ち出しは行いません。学術集会や論文等において研究成果を公表する際にも、個人の特特定ができないように十分配慮した形で行います。また、本研究のデータは、研究終了後に匿名化のまま廃棄します。

【問い合わせ先】

本研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守って実施されます。ご希望がありましたら、他の研究対象の方の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、本研究の研究計画書、関連資料をご覧くださいことが可能ですので、お申し出ください。

ご自身の情報を本研究に使用されることについてご了承いただけない場合や、途中で研究の対象から除外して欲しいとのご希望があります場合は、研究対象とは致しませんので遠慮なくお申し出ください。

ご協力いただけない場合でも、患者さんやそのご家族の方が病気の治療を行う上で不利益を受けることはありませんのでご安心ください。ただし、同意を取り消された時点で既に研究結果が論文等で公表されていた場合などは、お一人分のデータを抜き出して訂正・消去することができない場合がありますことを、ご了承ください。

本研究に関するご質問、お問い合わせ、研究計画書の閲覧希望等があります場合やご自身の本研究への登録の有無に関しましては、担当医師または下記連絡先までお問い合わせください。

皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

連絡先

さいたま市立病院 総合心療科 部長 仙波 純一（研究責任者）

〒336-8522 埼玉県さいたま市緑区大字三室 2460 番地

電話：048-873-4111（代表）